

講義科目名称：経営学研究法

授業コード：

授業科目の区分等：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3 年	2	必修
担当教員			
佐々木 正仁			
B	S	SM	401

授業のねらい（概要）	経営学分野の実践的な方法や最新の技術について、自ら学び解決する能力の育成を目的とします。興味や関心のある経営・情報分野に関する課題を対象として、課題解決のための研究計画の作成、資料収集や分析、報告、意見交換などを通して自己の考えを展開する能力を高めるとともに、研究成果を自主的にまとめる能力を養成します。
授業計画	以下に挙げたテーマについて、卒業研究の準備として具体的事例を示しながら紹介していきます。各自、最も関心を持ったテーマについて、さらに深く理解することを念頭に、自ら問題意識をもって臨んでください。 ・AIを利用したBtoB環境における電子商取引 ・IoT技術を利用した電子商取引 ・CG作品の創作 ・服飾・食品（味覚）・工業デザイン等、感性にかかわるデザインの最適化 ・ディープラーニング、機械学習による人工知能モデルの設計・開発 ・人生相談AIの開発 ・ゲームプログラムの開発 ・eラーニングシステムの開発 ・社会情報分析 ・需要予測 ・その他経営情報システム関連 予習（時間）：授業計画の目標に対して、自主的な準備と予習。（120） 復習（時間）：毎回のゼミで得た知見等を、卒業論文の作成に反映できるよう、ノートにまとめておく。（120）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	1. 経営学の専門的知識を持ち、組織全体を見渡す能力 2. 経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）を多角的に理解し、活用できる能力 【身につくスキル】 生涯学習力・情報活用能力
到達目標	1. 経営・情報分野に関する問題意識を持ち、解決のための一連のプロセスを経験する。 2. 学んだ知識に基づく問題解決能力を養い、他者との相互理解を深めるためのディスカッションとプレゼンテーションのスキルを磨く。 3. 現実の企業業務及び経営戦略を理解し、対応する経営情報システムを提案できる能力を磨く。 4. 経営活動を支える情報技術について、最新の動向を捉えて応用する能力を磨く。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	提出課題などについて、問題点・修正点などを毎回のゼミの中で議論し、理解を深める。
履修上の注意	経営・情報分野に関して自ら問題意識をもって、解決のための一連の過程を経験することによって、社会人として要求される能力を高めることを常に心がけてください。
成績評価の方法・基準	①ゼミ活動への参加姿勢（40%） ②各自の設定したテーマに関するレポート（60%）
教科書	必要に応じて電子教材・課題プリントを配布する。
参考書・教材	必要に応じて紹介するが、自ら探し出す能力を高めてほしい。
備考	講義科目 第1回から第4回までは遠隔授業で行います。 第6、10、15回を課題研究として学修します。具体的には、それぞれ事前にテーマを提示します。全体で330分の学修を想定しています。
教員との連絡方法	Melly, メール（アドレスは授業内で周知）